



調査票 D 超音波検診で発見したがん患者の個票

注意）本票は他施設より情報回収する際の書式です。実際のデータ提出には使用できません。
データ提出は本学会ホームページの「全国集計 Web システム」よりお願いいたします。
・個票の取り扱いには、十分ご注意ください、ご配慮ください。

※（1）初回とは、初めての受診、または、直近の受診が3年以上前の場合と定義します。
※（2）「肝内胆管がん（胆管細胞がん）」は肝を選択して下さい。
※（3）最終診断名で下記 ICD-O 局在コードを選択した場合、以下の形態コードを記入して下さい。
C22.0：病理診断がなく画像診断のみでも形態コードを記入
C22.0：肝細胞癌の場合、画像所見のみの診断でも形態コード 8170/3 を記入
C22.1：胆管細胞癌の場合、画像所見のみの診断でも形態コード 8160/3 を記入

超音波検診実施機関名：

1) 患者

性別

☐ 男性 ☐ 女性

発見時年齢

歳

※システムへの転記の際は、5 歳刻みでの年齢選択になります。

2) 検診

実施年月日

西暦

年

月

日

検診受診歴

☐ なし（初回受診※） ☐ 1 年前受診 ☐ 2 年前受診 ☐ 3 年前受診 ☐ 不明

※初回受診とは過去 3 年間に受診歴がない場合のことです。

3) 診断・治療

悪性疾患の認められた臓器

☐ 肝 ☐ 胆嚢 ☐ 胆道 ☐ 膵 ☐ 腎 ☐ 脾

(原発巣の臓器を選択してください) ☐ その他→臓器名 ()

超音波検診カテゴリ

☐ 0 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 3' ☐ 4 ☐ 4' ☐ 5 ☐ 5' ☐ 不明

0～5'カテゴリー判定の根拠となった超音波所見（超音波検診カテゴリーで 0～5'を選択した場合に入力）

()

最終診断名（ICD-O コード） ()

☐ 転移性肝がんである場合はチェックしてください。

ICD-O 局在コード ()

最終診断根拠（必須）

☐ 剖検 ☐ 切除 ☐ 生検（病理、細胞診） ☐ 画像診断（造影 CT、MRI、その他）

病理組織診断名（ICD-O コード） ()

ICD-O 形態コード ()

主な治療法

☐ 切除手術 ☐ 局所療法 ☐ 経カテーテル治療 ☐ 化学療法 ☐ 放射線療法

☐ その他の治療 ☐ 未治療

切除手術 ※主な治療法で「切除手術」を選択した場合に記入してください。

☐ 原発巣完全切除 ☐ 原発巣不完全切除 ☐ 姑息／対症／転移巣切除 ☐ 不明

ステージ分類（UICC 分類） ※主な治療法で「切除手術」を選択した場合に記入してください。

☐ 0 ☐ I ☐ Ia ☐ Ib ☐ II ☐ IIa ☐ IIb ☐ III ☐ IIIa ☐ IIIb ☐ IIIc

☐ IV ☐ IVa ☐ IVb ☐ 不明 ☐ その他

「その他」の内容 ()

重複癌

☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明

※「有」を選択した場合、診断名、ICD-O 局在コードおよび形態コードを入力してください。2 個まで回答可。

診 断 名① ()

ICD-O 局在コード① ()

ICD-O 形態コード① ()

診 断 名② ()

ICD-O 局在コード② ()

ICD-O 形態コード② ()

一般社団法人 日本消化器がん検診学会
全国集計委員会集計用紙